

第194回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成24年5月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,555	-0.75	0.08	4,074	0.24	0.00
東部地区	14,321	-0.81	0.16	5,725	-0.64	0.15
西部地区	10,505	-1.04	-0.24	3,990	-0.42	-0.17
駅南地区	6,266	-0.41	0.09	2,707	0.48	0.18
半田地区	3,612	-0.22	-0.38	1,371	-0.21	-0.72
横山地区	5,660	-0.03	0.21	1,926	1.63	0.41
茨目・田尻地区	6,986	-0.10	-0.01	2,399	1.09	0.20
荒浜地区	5,024	-1.68	0.01	2,016	-1.17	0.14
その他地区	20,018	-2.05	-0.24	7,158	-0.32	-0.20
西山町地区	6,168	-0.67	-0.06	2,150	0.84	-0.04
高柳町地区	1,787	-3.09	-0.39	815	-1.57	-0.24
柏崎市計	89,902	-1.04	-0.05	34,331	-0.05	-0.01
刈羽村	4,846	-0.39	-0.16	1,568	-0.31	-0.25
小国地区（長岡市）	6,081	-1.72	-0.14	2,116	0.18	0.33
出雲崎町	5,008	-1.68	-0.15	1,807	0.22	0.33
合計	105,837	-1.08	-0.07	39,822	-0.04	0.01

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で950人、1.04％、刈羽村で19人、0.39％、小国地区（長岡市）で107人、1.72％、出雲崎町で86人、1.68％とそれぞれ減少し、全体では1,162人、1.08％の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で51人、0.05％、刈羽村で8人、0.16パーセント、小国地区で9人、0.14％、出雲崎町で8人、0.15％減少しており、全体では76人、0.07％減少している。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で4世帯、0.18％、出雲崎町で4世帯、0.22％増加したが、柏崎市で19世帯、0.05％、刈羽村で5世帯、0.31％減少したことから、全体では16世帯、0.04％の減少となった。また、前月比においては、柏崎市で5世帯、0.01％、刈羽村で4世帯、0.25％減少したが、小国地区で7世帯、0.33％、出雲崎町で6世帯、0.33％増加した結果、全体では4世帯、0.01％増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,353		21.67		-6.04	
月間有効求職者	2,181		-16.78		-5.50	
月間有効求人倍率	0.62	0.85	0.20*	0.21*	0.00*	0.03*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,353人と前年同月比で241人、21.67％の増加となり、前月比では87人、6.04％減少している。

月間有効求職者数は、2,181人と前年同月比で440人、16.78％減少し、前月比では127人、5.50％減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.62倍と前年同月比で0.20ポイント上回り、前月比では同倍率となっている。なお、県平均0.85倍と比べると0.23ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が551人と前年同月比で33人、6.37％の増加、月間新規求職者数が570人と前年同月比で112人、16.43％減少した結果、月間新規求人倍率は0.97倍となり、前年同月の0.76倍に比べて0.21ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成24年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	23	-12	-10	56	-17
共 同 住 宅	6	5	-1	13	9
事 務 所	0	-2	-2	2	-1
作 業 所・工 場	1	-1	0	2	-2
営 業 建 物	2	1	2	2	-3
公 共 建 物	0	0	0	0	0
そ の 他	23	6	6	40	14
合 計	55	-3	-5	115	0

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が55件と前年同月比で3件減少し、前月比でも5件の減少となっている。工種別内訳の主な増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比で12件の減少となり前月比でも10件減少している。共同住宅は前年同月比で5件増加したが、前月比では1件減少している。なお、工種全体の申請内容は、新築が51件となっており、また一般住宅(併用)23件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が11件(うち新築8件)、市外施工業者が12件(うち新築12件)となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,379	0.02	0.01	18,440	-1.23	-17.36
電 力	10,403	-2.82	0.10	35,503	7.46	-6.89

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で18口、0.02%増加し、前月比でも、7口、0.01%増加している。一方、電力においては、前年同月比で302口、2.82%減少し、前月比では11口、0.10%増加している。

使用量は、電灯が前年同月比で231kwh、1.23%減少し、前月比でも、3,874kwh、17.36%減少している。一方、電力においては、前年同月比で2,467kwh、7.46%増加したが、前月比では、2,630kwh、6.89%の減少となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,292,809	-3.37	-22.89	689,827	0.48	1.27
営 業 用	182,009	0.18	-29.07	119,373	4.70	2.03
工 場 用	612,447	13.41	-15.00	121,319	14.65	-14.09
官 公 学 校 用	226,224	-13.47	-50.69	70,032	-8.84	1.32
そ の 他				225	240.90	341.17
合 計	2,313,489	-0.32	-25.67	1,000,776	1.78	-0.76

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で7,616m³、0.32%減少し、前月比でも799,208m³、25.67%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、家庭用、官公学校用で減少し、前月比では、すべての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で17,578m³、1.78%の増加となり、前月比では7,756m³、0.76%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、官公学校用で減少しており前月比では工場用で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	89,931	1.55	7.82	93,465	1.64	8.55
西 山	43,225	2.70	6.52	39,557	4.14	6.25
米 山	22,108	2.23	11.80	20,601	4.52	12.00
合 計	155,264	1.97	8.00	153,623	2.65	8.40

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で3,000台、1.97%増加しており、前月比でも11,510台、8.00%増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で3,975台、2.65%増加し、前月比で11,907台、8.40%増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比では、入口・出口ともにすべてのインターで増加、前月比でも同様にすべてのインターで増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	366,100	0.33	-0.84	145,135	-2.33	-0.85
平 残	367,970	0.12	0.17	144,685	-1.03	-2.05

預金は、末残が前年同月比で1,217百万円、0.33%増加したが、前月比では、3,138百万円、0.84%減少している。また、平残においては、前年同月比で466百万円、0.12%増加し、前月比でも641百万円、0.17%増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で3,474百万円、2.33%の減少となり、前月比でも1,258百万円、0.85%減少している。平残においては、前年同月比で1,519百万円、1.03%減少し、前月比でも、3,042百万円、2.05%の減少となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	32,446	-0.86	20.61
交 換 金 額	28,323	6.94	23.70
不 渡 り 手 形 枚 数	53	783.33	-1.85
不 渡 り 手 形 金 額	29	-44.19	-29.20

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で284枚、0.86%減少したが、前月比では5,545枚、20.61%増加している。また、交換金額においては前年同月比で1,839百万円、6.94%増加しており、前月比でも5,427百万円、23.70%増加となっている。なお、不渡手形は53枚、29百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産9件（前年同月4件、前月8件）、負債総額12億円（同4億円、同25億円）となっている。地区別では、下越地区で5件（村上市3件、新潟市1件、燕市1件）中越地区で2件（魚沼市2件）、上越地区で2件（上越市2件）発生している。業種別は、建設業が2件、製造業3件、卸売業1件、小売業2件、その他が1件となっており、倒産原因は、販売不振が7件、その他2件となっている。

当月の企業倒産は、前年同月比では、件数で5件の増加となり、負債総額は8億円の増加となっている。前月比では件数は1件増加し、負債総額は13億円減少している。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、前月まで回復の兆しを見せていたが4ヶ月ぶりに悪化している。欧州の債務不安や米国経済の失速による円高再燃などから景気回復への見通しは不透明な状態が続いており依然として厳しい状況にある。